

簡易な収入見込額の申立書 【家計急変者】

ひとり親世帯以外用

- 「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外分）申請書」と一緒にご提出ください。
- 下記にある【要件1】及び【要件2】の両方を満たす場合に支給の対象となります。

① 下記にチェック（）してください。

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少しました。

→【要件1】①にチェックが入っていること。

※申請者（もしくは配偶者等で③の年間収入が高い方）が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、収入が減少した場合にチェックしてください。

② 申請者及び配偶者等の令和3年1月以降の任意の月の収入（1か月）の内訳及びその合計額をご記入ください。

令和 年 月		申請者				配偶者等			
収入	給与収入【A】				円				円
	事業収入又は不動産収入【B】				円				円
	年金収入【C】				円				円
収入合計額【A+B+C】					円				円

※複数の職に就いている方は、全ての収入の合計を記入してください。

※【A】に記入の際は給与明細書などの書類、【B】に記入の際は帳簿などの書類、【C】に記入の際は、年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの書類をご提出ください。

×12

×12

③ 申請者及び配偶者等の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。

年間収入見込額	申請者				配偶者等			
				円				円

④ 上記③で「申請者」の年間収入見込額が「配偶者等」より高いことを確認して、申請者について限度額を記入してください。

非課税相当収入限度額

円

- ※ ③で「申請者」の年間収入見込額が「配偶者等」より高いことを確認して、申請者について非課税相当収入限度額を記入してください。
- ※ 限度額は、下の早見表から、申請者の申請時点の「世帯の人数」にあてはまる金額を記入してください。
- ※ 申請者が申請時点で、障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合は、非課税収入限度額は204.3万円としてください。（世帯の人数が4人以上の場合は早見表の人数としてください。）
- ※ 給与収入、事業収入等、いずれの収入についても以下の早見表を利用してください。

<早見表>

世帯の人数（注）	非課税相当収入限度額
2人	146.9万円
3人	187.7万円
4人	232.7万円
5人	277.7万円
6人	322.7万円

（注）世帯人数は、以下の合計人数です。

- ・申請者本人
- ・同一生計配偶者（収入金額103万円以下の者）
- ・扶養親族（収入金額103万円以下の者）

→【要件2】申請者について、③の年間収入見込額が④の非課税相当収入限度額以下であること。

※【要件2】を満たさない場合でも、「簡易な所得見込額申立書」の要件を満たすことにより支給の対象となる場合があります。

【確認事項】（各項目のチェック欄（）に『』を入れて頂き、氏名をご記入ください。）

- 【要件1】【要件2】共に該当します。
- 収入額が分かる書類（給与明細書や年金額改定通知書等）を提出しています。
（注）収入が0円の場合は、別途、自身の収入の状況等の詳細について記載した申立書の提出を求める場合があります。
- 今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の収入見込額が収入基準額を上回ることが明らかであるものではありません。
- 本申立の内容に相違ありません。

令和 年 月 日

申請者氏名 _____（自署）

配偶者等氏名 _____（自署）